

公益社団法人宇都宮青年会議所
2014年度 第10回 常任理事会

日 時：2014年 10月 8日（水）19：00～

場 所：コンセーレ J Cルーム

出席者：

- （ 理 事 長 ）：村上(敬称省略 以下同)
（ 直 前 理 事 長 ）：
（ 顧 問 ）：
（ 副 理 事 長 ）：朝田、木村(英)、福田(之)、須山
（ 専 務 理 事 ）：中島(崇)
（ 監 事 ）：飯野
（ 担 当 常 任 理 事 ）：林、金
（ 全国大会招致会議議長 ）：羽石
（ 会員拡大会議議長 ）：太城
（ 協働連携特別会議議長 ）：
（ 法令会計審査会議議長 ）：廣田
（ 事 務 局 長 ）：橋本

1. 開会宣言 <中島(崇)> (役職名省略 以下同)
2. J C I クリード唱和 <廣田>
3. J C I ミッション並びに J C I ビジョン唱和 <羽石>
4. J C 宣言文朗読並びに綱領唱和 <金>
5. 関東地区宣言唱和 <太城>
6. 出席者の確認 <橋本>
出席理事 13 / 19名

7. 議事録作人の指名 議事録 <総務委員会>
8. 前回議事録の確認 <中島(崇)>
9. 議題並びに資料の確認 <橋本>
10. 理事長挨拶 <村上>

まずは、常任理事会に定刻通りお集まりいただきまして、本当にありがとうございます。残り2回となりました常任理事会であります。先日行われました関東地区大会、そしてまた明後日から全国大会松山大会が始まるわけです。それぞれの組織におきまして、本当に集大成の場という時期になってきております。そしてLOMの中でも、先日だてでの合同例会もありましたし、これも非常に大成功とってよかったのではないかというふうに思いましたし、また、木村副理事長と太城議長はじめ、拡大会議の皆さんにわざわざ石川県まで打ち合わせに行ってもらいました。小田先輩の講演会が10月21日にあるということで、LOMの中でもまだまだやらなければいけないことはたくさんあるわけでありまして、その中に拡大というのがもちろんあるわけでありまして、これは来年以降にも繋がってきますので、是非多くのビジターを連れてきていただけるように、常任理事会構成メンバーのほうからもお伝えいただきたいと思っております。

それでは、本日の常任理事会もよろしくお願い致します。ありがとうございました。

11. 直前理事長挨拶 <福田(治)>

欠席の為、割愛。

12. 役員報告

<林> 宇都宮市環境ワークショップのお知らせでございます。11月8日土曜日、宇都宮市役所におきまして、環境ワークショップが開催予定となっております。宇都宮市のほうからもJCへ参加の依頼がございまして、政策委員会のほうで担当させていただくことになりました。内容としましては、宇都宮の環境政策にあたりまして、市民団体の意見を幅広く聞きたいということで、そちらのワークショップということで、宇都宮JCでも2つのグループ20名に参加していただきたいとの要請であります。皆様大変お忙しい時期とは

と思いますが、私や中島委員長のほうから取りまとめの連絡をさせていただきたいと思っていますので、是非日程の調整をよろしくお願ひしたいと思ひます。

<金> 全国大会松山大会で国際セミナーが開かれますので、国際グループとしてのご案内をさせていただきます。日時が10月11日土曜日、13時～14時30分でございます。ひめぎんホール真珠の間というところで行われます。パネリストを呼んでの、国際のことが近くなるようなパネルディスカッション公演ということでご用意していますので、「あなたの知らない世界」というテーマですので、国際のことを知る機会として皆様、お時間のある方はお越しいただければと思ひます。定員230名となっております。よろしくお願ひいたします。

<須山> 先ほど村上理事長からもお話がありましたが、関東地区大会におきましては、本当に皆様方にご協力いただきまして、多くのメンバーが来てくださりまして本当にありがとうございます。おかげさまで、前夜祭、フォーラム式典大変盛り上がりまして、最大の運動の発信の場としてはとても輝かしい結果になったかなと思ひます。また、11月15日に、ありがとうございます関東地区でございます。集大成と、皆様に感謝を見せる場でありますので、ご支援のほどよろしくお願ひいたします。

<太城> 先ほど理事長からお話がありました通り、石川県に打ち合わせに行きました。小田先輩は本当によい方で、本も出しているということで、いろいろな方が聞けるような話をさせていただけるということなので、チラシも作りしましたので、是非関係者、興味がある方に配っていただきまして、なおかつビジターを、ほぼ今年入会に繋げるにはラストチャンス大きな場ですので、是非ご協力をよろしくお願ひします。チラシは後で各常任理事の皆様に配らせていただきますが、1枚も残すことのないよう、是非配っていただきたいと思ひます。残っていたら、拡大委員会のやる気がないということです。日にちは10月21日火曜日19時開始でございます。

<中島(崇)> 先ほど金常任からございました通り、全国大会いよいよ今週末から始まりますので、よろしくお願ひいたします。

10月19日日曜日、こちらは「よみがえれ！宇都宮城」ということで、毎年強制出向ということで参加させていただいておりましたが、今年は地域交流委員会の横島副委員長、青少年育成委員会の岡田副委員長で、実際に委員として

出向いただいております、社参行列に参加していただくという形になりますので、お見知りおきをいただくと共に、実際にお声掛けをいただきたいというふうに思います。よろしく願いいたします。

それから、10月23日木曜日、こちらは朝8時からじゃがいもゴルフコンペがございます。例年2組約8名の出席者がおりますが、現状橋本事務局長のほうで全て取りまとめをしていただいているような形でございますので、LOM全体で参加してくださいというより、ゴルフですのでできる方も限られてくると思いますが、是非よい機会ではございますので、ゴルフで交流を深められるというところも加味してご参加いただけるよう、常任理事の皆様からも、メンバーの方で参加したいという方がいらっしゃったら、パイプになっていただけたらと思いますので、よろしく願いいたします。

それから、同日18時30分よりシニア総会がございます。この場におきましては、全国大会に関するお話と、今年度関東地区担当常任理事としての山本常任理事の報告が時間として設けられています。それからその懇親会におきまして、シニアからの要望で、現在の理事会構成メンバーと交流を深めたいというところもありまして、理事会構成メンバーの出席を求めるといった形になっております。実際に、構成メンバーの40名中30名くらいの形で、ほぼご出席いただくような形でお声掛けをさせていただきたいと思いますので、よろしく願いいたします。次年度の正副につきましては、お披露目、理事長から紹介をしていただきますので、出席をしていただきますようよろしく願いいたします。私が次年度の日本JCの常任理事会がございまして参加できないので、取りまとめや引継ぎ等はうまくやらせていただくようにしますが、シニア総会のほうはシニアたつての要望ということでもありますので、是非とも距離を縮めるという意味で、ご協力をお願いしたいと思います。

それから10月27日月曜日、こちらは特段常任理事の皆様は何をとということではございませんが、今年度日本JCの人材グループのグループ会議を宇都宮でやるということになりました。これに関しては、13時からのグループ会議おきまして、理事長とご挨拶をさせていただくとともに、懇親会でお酒を届けにあがるというような形になると思いますが、一応そういったことがございますので、よろしく願いいたします。会場につきましては、マルチということで検討させていただいております。

10月28日、臨時理事会が入っております。この件に関しましては、11月の総会の資料確認ということになっておりますので、申し訳ありませんがご協力をいただきたいというふうに思っております。これに関しましては、再度ミーリングのほうは、イレギュラーなスケジュールの変更から臨時理事会になりますので、もう少しミーリングも回数を増やして流すようにしますので、常

任理事の皆様からも理事メンバーのご周知をお願いいたします。

13. 協議事項

協-01 第110回通常総会 開催報告並びに決算（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> ご意見がある方は、挙手をお願いします。
ないようなので、理事長コメントをお願いします。

<村上> 所見のほうも大分まとまったのでよいと思いますが、1点気になるのが最後の、当たり前のように80%のメンバーが出席している理想の総会、とありますが、理想の総会なら100%だと思います。そこだけお願いいたします。

協-02 第30回わんぱく相撲全国大会 開催報告並びに決算（案）について

協議資料に基づき、林常任より上程文の読み上げ。

<中島(崇)> こちら議案を開くと、タグが社団法人日本青年会議所になります。これは総務のほうでも確認してください。
それから検証ですが、「目的の達成ができたと感じました」など、表現が感じましたになっています。感じたのではなく、検証ができたかできなかったか、なので、できたならできた、できなかったならできなかったで、その辺はもう一度文言を精査してください。

<金> 感想文ですが、次回理事会までに添付ということですが、子どもたちにはどのようなスケジュールで提出を促しているのかというのをお聞かせ下さい。

<林> こちらは現在保護者の方と連絡を取りまして、感想文を書いていただく了解はいただいております。陽南道場の稽古が毎週土曜日に行われているということで、その時に受け取りたいとお話をさせていただいております。スケジュールとしては、18日土曜日には受け取りたいとお願いをしている段階であります。

<羽石> 委員長所見の下から4行目の中ほどにある、国技である相撲とあったのですが、相撲が国技か国技ではないかというのは多分定まっていないのではないかという感じになりますので、確認をお願いします。

<村上> 子供たちの感想文は、テンプレだけではなくしっかり内容を検証するための感想文だと思いますので、しっかり反映させてほしいと思います。検証の部分で、事業目的が達しなかった点、全国のJCとの共同連携の部分、できませんでした、ではどうするのという部分がないと思います。できませんでした、だけだと、検証にならないので、そこは何かしら、引き継ぎでも結構ですし、入れておかないといけないというふうに思います。

協-03 第111回通常総会 開催計画並びに予算(案)について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

<羽石> 審議事項に除名の件というのは入れなくてよろしいのかなという質問です。

<橋本> こちらは10月23日が入会締切日と定めさせていただいております。それまでは除名になるかまだ分からない状態なので、あえて議案には載せさせていただいておりません。ただし、23日の時点で総会に載せなくてはならない状態になってしまった場合には、28日に総会資料の臨時理事会がございしますので、その時にはしっかり上程させていただければと思います。

<中島(崇)> 会費に関しましては、是非ご入金をいただいて、できる限りしっかりと継続をしていただけるようにアプローチを、事務方としてもかけていくというところでの形でありますので、ご了承いただければと思います。

<村上> 委員会回りはするのですか。

<橋本> はい、する予定です。

<村上> 前回の総会が近年の一番高い出席率だったので、そこで成功したことは是非引き継いでいただきたいことと、議案を見ていて、ぼやけているなど思っているのですが、書くところが違うと思います。どこがというと、出席率の向上の話が事業内容のところに入っています。これって書くところは3番です

よね。参加推進方法ですよね。なので、動員のための総会みたいになってしまっています、議案を見ていると。ですので、そこはしっかり修正をして、理事会に臨んでいただきたいです。

協-04 11月報告事業 開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、橋本事務局長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)>総会后開催されます報告事業でございますが、例年やっている設えとは内容も含めまして査収している部分も多々ございますので、慎重なるご協議をいただきたいというふうに思います。よろしく願いいたします。

<林> 参加推進方法ですが、当日総会と同日ということで、総務委員会さんと協力した参加推進ですとか、そういったものの検討はされているのでしょうか。

<橋本> 現時点では、委員会単独での促進の案内というふうになっております。ただ、委員会の中で今の林常任の意見というのは出ていなかったもので、逆にこちらを委員会に持ち帰って、総務委員会と連携が図れるかどうか協議させていただければと思います。

<木村(英)>最後の4番ですが、○×質問形式に切り替えるとありますが、これはどんなことをやるのか、理事会のときに参考資料みたいなものは作るのですか。

<橋本> こちらは現在、全国大会招致会議さんのほうで設営をしていただいておりますので、添付資料を載せられる状態になりましたら、理事会のほうにも載せさせていただきたいと思います。

<羽石> 事業内容にあります、2014年度新入会員紹介のところですが、ムービーを4分放映して、その後登壇して挨拶とあったのですが、これを全部で5分見ているということですが、時間的にこれは間に合うのでしょうか。

<橋本> 現在の新入会員数が21名、1人10秒ずつの映像を作って210秒の映像を今のところ考えております。登壇を入れて1分間で壇上で説明できるかと考えておりますので、ギリギリではありますが5分でまとまるよう考えております。

- <羽石> それでしたら、具体的な導線のようなものを作っていたほうが分かりやすいかと思えますし、新入会員メンバーもこういったことは初めてかと思えますので、そういった設えは必要かと思えます。
- <朝田> 貼り付けどおりの時間だと厳しいという質問をさせていただきましたが、修正内容が○×を削除するというものですが、このディスカッションだけで大体全員の意見は聞けるのでしょうか。このシナリオだと3名しか書いていなくて、6名しか発表の場がないのですが、そのへんはどのようにお考えでしょうか。ただ、文面には11名ずつ指名しますと書いてありますので、どこが正しいのか教えていただけると助かります。
- <橋本> 現状、質問に対しての回答を一項目6～7分とさせていただいておりますが、こちら質問内容をもう少し精査して、1人4分で終わるようなものを考えてみたいと思います。できれば全員に発表する場を設けたいと思っていますので、もう少し委員会のほうで査収させていただければと思います。
- <朝田> 今4分ということでしたが、これは全員の意見を聞こうとすると、多分2分くらいしかないと思います。なので、2分くらいということで検討していただければと思います。
- <金> タイムテーブルの話ですが、監事講評が入っていますが、監事講評やるのでしょうか。報告依頼確認事項も。確認をお願いします。
- <村上> 2点ありますが、細かいことからいくと、先ほどのタイムスケジュール、これは正副でも言われていますが、そこは細かくきちんと詰めたものを修正してきてほしいのと、あとは大きく2つですが、1つ目は山本和紀君からの報告ムービーのところに、「関東地区協議会会長という立場から、メンバーへのメッセージをいただきます」と書いてありますが、関東地区協議会の会長という立場からメッセージをもらうのですか。違いますよね。これは多分書き方の問題だと思いますが、あくまでLOMのメンバーがこういう役職をやってこういう経験をしましたよ、というのを伝えてほしいです。それともう1点、これは絡むところですが、このディスカッション方式のところ、この出演者の出向者の括りでいくと、やはり赤松君が浮きます。というのは、赤松君は委員長ですよね。なので、はっきりいうと見ている景色が違うのです。例えば、スタッフで出向してこういう経験をしました、という話と、委員長

で世界を回っている話は全然違うわけです。正副の時にはこの山本会長の報告ムービーというのはなかったからあれですが、こういう設えにするのであれば、山本・赤松はスピーチです。それをやはりメンバーの人に、どういう世界があったとか、そこはやはり、出向でいけばここは別格だと思います。でないと赤松君がかわいそうです。それともう1点、全国大会招致会議の報告を、〇×形式にする、質問形式ディスカッションのシナリオと差し替える。これはどういうことですか。

<橋本> これは、シナリオは余計です。〇×形式ディスカッションとの差し替えということなので、ただ単に枠をしっかりと取りましたという意味です。失礼しました。

<村上> 〇×形式にするというわけではないのですね。ここは、全国大会招致会議が今年1年間やってきたところの集大成を見せる場所になると思います。ここは本当に羽石議長に熱いプレゼンテーションをここでしてもらわないと、このメンバーにやはり伝わらない。なので、そこは上手く連携をして、羽石議長の1年間やってきたことがメンバーにしっかりと伝わるような設えというのを、是非サポートしてあげてください。でないと、来年以降に繋がりません。よろしく願いいたします。

協-05 12月総括卒業式例会 開催計画並びに予算（案）について

協議資料に基づき、太城議長より上程文の読み上げ。

<中島(崇)>非常に申し上げづらいことが何点かございますので、今上程の際に太城議長から言っていた件をふまえての上程ということで、ご理解をいただきたいと思います。

<金> 2点ほど確認というか質問があります。まずは毎年「若い我ら」を歌っているような気がします。今回はどのようなタイミングで入れる予定でしょうか。それが1点と、もし入れるのであればですが、僕も含めて歌詞が分からない方が多いと思うので、何かしらその対応を、紙1枚でもいいのであれば優しいかなという点が1点出てきます。もう1点が、ゲストでお祝いに駆けつけてこられる方が、去年はなかったのかなと思うのですが、来られた場合の対応とかそのへんをどうお考えなのか、質問させていただきます。

<太城> 「若い我ら」については、やりません。違った趣向で閉会宣言に繋げていこうと思います。ゲストについてですが、卒業式の時には原則入っていただきかず、入っていただくのはその後の卒業生を囲む会で入っていただきたいと思っておりますので、そういったご案内もさせていただきたいと思っております。

<林> タイスケの中で、11時45分から催しというのがありますが、こちらはどのようなものになるのか、打ち合わせはどのように進んでいるのか、もしくはサプライズ的なもので検討しているのか、そのあたりはどのようになっているのでしょうか。

<太城> その催しの部分が本来「若い我ら」なのですが、そこは違った趣向でということで、今のところ催しというふうに表現しております。

<金> 検討させていただきます。

<村上> 1ヶ所確認ですが、15番に直前理事長挨拶とあるのですが、これは乾杯ですか。分かりました。ありがとうございます。理事会までによりしくお願いいたします。

協-06 その他

なし

14. 報告事項

報-01 対外出向者について

<中島(崇)> ご確認ください。

報-02 年間公式スケジュールについて

<中島(崇)> ご確認ください。

報-03 2014年度カレンダーについて

<中島(崇)>役員報告の際に一点報告が漏れました。10月28日臨時理事会が入っております。11月の総会の資料確認になっておりますのでご協力いただきたいと思います。メーリングを流しますが、イレギュラーからスケジュールの変更から臨時理事会になりますので、もう少しメーリングの回数を増やようにしますので、常任理事の皆様からも理事メンバーの皆様にもご周知お願い致します。

報-04 年会費入金状況について

<廣田> お手元の紙資料をご覧ください。本日17時現在、未だ入金のない方が若干色を濃くして染めてあります。この中で伊澤さんと堀江さんはもう連絡がつかないような状況です。残りのお三方は連絡がついておりまして、10月末というお言葉はいただいておりますが、総会等の関係もございまして、23日を締め切りとさせていただいております。担当ラインの副理事長・常任理事の皆様方におかれましては、1日も早い入金の催促をお願いしたいと思っております。

報-05 特別会員入金状況について

<中島(崇)>ご一読ください。

報-06 例会出欠報告について

<中島(崇)>本日10月例会の出欠表が流れていたと思いますが、出席していたのに○がついていなかった方結構いらっしやったと思います。なので、必ず委員長にチェックをするように、常任理事の皆様からも伝えるようお願いいたします。出席率に関わると同時に、次年度の選挙権にも関わってくる重要な案件ですので、必ずチェックをするようお願いいたします。

報-07 次回開催について

<中島(崇)> 11月10日(月) 19:00～ コンセーレにて開催。

15. 監事講評

<飯野>

まずは総務委員会の皆様、ご設営をしっかりとさせていただいて、ありがとうございます。このお役目ももう一息でございます。よくいわれますが、こういった設営関係はミスが許されなくて、1つミスをしただけでそれがずっと後々まで印象として残ってしまいます。ここまでしっかりとしたので、もう少しだけ頑張っただければなと思います。

さて、本日の内容ですが、その前に1点だけ、会費の納入の資料の件ですが、一応理事会の報告資料で入っているので、これはそのまま残されるのかどうかというのが意見としてありますが、56番で青木一憲君がのっています。この方は継続をされたのか、されていないのか、というところですが、仮にしていないのであれば、ここにのっているのはおかしいかと思います。継続していて退会されているのだとしたら、会費の返金が引かかってしまうと思うので、そのへんは確認をしていただければと思います。

本年も常任理事会が今日終わりましたら、あと1回、理事会が3回ともう少しでございます。中国の言葉で「百里を行く者は九十里を半ばとす」という言葉があります。この言葉の意味するところは、どんなことも終わらせ方が非常に難しいということを表しているそうです。残り少しですが、ここで次年度も始まっている時期でもありますが、最後の最後まで気を抜くことのなく、しっかりと各種報告や、また11月の例会、12月のさよなら例会と、本当に有終の美を飾っていただければなと思いますので、お願いをさせていただきまして、簡単ではございますが、監事講評にかえさせていただきます。お疲れ様でした。

16. 閉会宣言

<中島(崇)>

公益社団法人宇都宮青年会議所

2014年度 第10回 常任理事会議事録

議長：(専務理事) 中島 崇

議事録作成：総務委員会